

令和 5 年 3 月 13 日

お客様各位

江蘇常隆客車有限公司
(アルファバス中国)
総経理 李 小攀
アルファバスジャパン株式会社
代表取締役社長 黄 坤達
(日本側責任者:取締役副社長 伊東 信輔)

弊社 EV バスにおける環境負荷物質(六価クロム)の使用状況について

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先般、中国製 EV バスへの六価クロム使用について、一部報道されておりますが、これに関しまして、弊社 EV バスへの使用状況と対応について、下記のとおり報告いたします。

敬 具

—記—

1. 調査対象

- ① EV バスに使用されている電池、パワートレイン(制御ユニット含む):主要部品
- ② ボルト、ナット等及びスイッチ関係

2. 調査結果

① 主要部品について:

六価クロムの使用はございませんでした(RoHS 指令適合証明書を各メーカーから入手済)。

② ボルト、ナット等及びスイッチ関係について:

車両に使用されているボルト、ナット等及びスイッチ関係を全て調査した結果、2種類の部品において、六価クロムを使用している事が判明しました。

・車内エアコン風洞内にて高圧ハーネスクランプに使用されているセルフタッピング

使用本数 約 50 本/台

・電動式デフロスター本体からのホース固定用クランプ

使用本数 4 本/台

本件につきましては、そのままご使用を続けていただいても人体に影響はございませんが、弊社といたしましては、ご利用されるお客様はじめ乗務員様への不安払拭を図るため、2種類の部品につきましては、既に部品交換を完了致しました。

3. 今後の対応について

現在、他に六価クロムの使用が疑われる部品はございませんが、万が一、六価クロムの使用が判明した際は、速やかに交換対応して参ります。今後につきましても、誠意ある対応をさせていただきますので、何卒ご理解賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以 上